

県図なう。

令和5年2月15日
第143号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。 鹿児島県立図書館

ホットニュース

令和4年度海音寺潮五郎記念文芸ゼミナール
受講生15人の渾身の作品です!

高校生作家の作品集が完成します!

県立図書館では、海音寺潮五郎財団の解散に伴っていただいた寄付を元に、海音寺文庫の整備、貴重資料のデジタル化、文化講演、文芸ゼミナール等の事業を行っています。

文芸ゼミナールは、県内の高校生を対象に、現役作家である講師の先生方に御指導いただきながら、年間8回の講座を実施し、一人一作品の完成を目指す事業です。現役作家である、出水沢先生、立石先生に御指導いただきながら、作品を書き進めます。講座では、作品について受講生同士の意見交換が活発に行われ、先生方からの御指導を参考に、作品を磨き上げていきます。令和4年度は、「小説を執筆してみたい」と受講を希望した県内の高校生15人が集まりました。第5回は直木賞作家の澤田瞳子先生との座談会が行われ、作品についての御指導もいただきました。



[第5回文芸ゼミナールの様子]

先日行われた第8回において、15人全員が無事作品を完成させました。受講生は「教えていただいたことをいかし、これからも執筆していきたい」と感想を述べています。3月末には受講生の作品集『潮音』が完成します。当館ホームページに掲載しますので、ぜひお読みください。

図書館で探そう、調べよう! ~暦について知りたい~

今回は暦に関する事柄を調べる方法を紹介します。「今年の干支は?」、「六曜を調べてほしい」、「和暦と西暦を照合したい」等、図書館には暦に関する質問も寄せられます。その際、役立つのが『21世紀暦』(日外アソシエーツ編集部/編、日外アソシエーツ、紀伊國屋書店/発売)です。この書籍には、2001年から100年間のすべての日(36,524日)が掲載されており、干支、六曜、九星、旧暦等も載っています。また、『理科年表』(国立天文台/編、丸善出版)には「暦部」の項目があるため、日出・日入の時刻や日食・月食等、暦に関する科学的な事柄を調べることができます。その他、Webサイトには国立天文台の「国立天文台暦計算室」(<https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/frame.html>)があり、日・月の出入りや南中時刻、高度方位など暦について調べることができます。

また、日本十進分類法(図書館における本の分類法)では、暦に関する情報は「449」という分類に該当するため、449の棚をブラウジング(本棚をしてみる)するのも調査方法のひとつです。

ちなみに、『21世紀暦』には前巻にあたる『20世紀暦』があり、1873年から2000年までの128年間の暦に関する情報が載っています。2000年以前の事柄に関して調べる際はぜひ御活用ください。

《一般図書》2月15日(水) **新着図書案内** 《児童図書》2月23日(木)

- 『ずっと信じていた徳川家康の武勇伝、実はウソでした。』 日本博識研究所/著 宝島社
- 『哀しくも愛おしい「40代おじさん」のリアル』 前沢 裕文/著 日経BP
- 『琉球切手を旅する』 与那原 恵/著 中央公論新社
- 『クジラ捕りが津波に遭ったとき』 森田 勝昭/著 名古屋大学出版会
- 『ルーン文字研究序説』 谷口 幸男/著、小澤 実/編 八坂書房
- 『うちゅう おおきなしゃしんでよくわかる!』 山岡 均/監修 高橋書店
- 『あいに、きたよ。』 たかはら りょう/ぶん、浜野 史/え 文芸社
- 『動物愛護を考えよう みんな大切な命1』 高槻 成紀/監修 汐文社
- 『ウソ!?ホント!?謎解き徳川家康』 楠木 誠一郎/著 講談社
- 『虹いろ図書館司書先輩と見習いのぼく』 櫻井 とりお/著 河出書房新社

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
2月1日(水)~2月28日(火)
「本で旅をしよう~世界編~」
本を開けば、あっという間に旅気分!?
世界の旅行ガイドや写真集、紀行を集めて紹介します。
- 児童文化室ミニ展示
2月23日(木)~3月22日(水)
「ありがとうの本」
3月は別れの季節。たくさんの「ありがとう」があふれる季節です。そんな気持ちにぴったりの本を集めて紹介します。

図書館職員のつぶやき

当館では、開館前に職員全員で、本があるべき場所に並んでいるか確認する作業(整架)に取り組んでいます。整架をしながら、毎日、「こんな分野を研究している方がいるんだ」とか、「こんなに面白そうな本があるんだ」といった発見があります。いろいろな分野の本に触れていると、「知らないことの方が圧倒的に多いんだ」と感じると同時に、知識欲がどんどん高まります。建物の仕組みを詳しく学んでみたいし、文化人類学や社会学についても知りたい、といったように様々な分野に興味をわきます。そんな時はまず、図書館の本を借りて読み、自分の知識欲を満たします。「知りたい」と思った時、手軽に情報を入手できる図書館は、学びのはじめの一步に最適だと実感しています。

今年も、皆様「知りたい」、「学びたい」と思った時に役立つ図書館になれるよう、ひとつひとつの業務を大切にしていきたいと思っています。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、新井 洋行/作・絵 の『しゅっしゅぽっぽ』(教育画劇)です。

この本は、私が人生で初めて買ってもらった絵本です。図書館で借りて、とても気に入った私は、返したくないと泣いたそうです。毎日のように読んでいた記おくがあり、大好きだったなとなつかしく思います。今でもたまに手に取り、ページをめくりまわす。「しゅっしゅぽっぽ しゅっしゅぽっぽ ぽっぽー」というフレーズが口ずさみやすく、小さいころの私もよく言っていたのだらうと思います。私に子供ができたときは、読んであげたいです。



図書館クイズ

にじいろのほん『王さまと九人のきょうだい』
君島久子/訳、赤羽末吉/絵(岩波書店)からのクイズです。

きょうだいのうち 3ばんめに 王さまにおしるに よばれたのは?

- ①はらいっぱい ②ちからもち ③さむがり

ヒント
もうたべられない!

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、3月14日(火)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。前回の答えは「②オモチちゃん」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
2月	12	13	14	15★	16	17	18◆
	19	20	21	22★	23□	24	25
	26	27	28◇	1★	2	3	4
3月	5	6	7	8★	9	10	11
	12	13	14	15★	16	17	18◆

- 開館時間 火曜日~土曜: 9時~21時
日曜日・祝日(白抜): 9時~17時
- は、休館日
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分~16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時~)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(2月15日、28日、3月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(2月23日)
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。